

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 メルボルン日本人学校

① 学習指導案

プログラム	No.06「塀もまちの景観の一部」
単元名 (全4時間)	いろいろな塀を見つけよう
学習のねらい	まちの中に塀がたくさんあることに気づく 学校周辺を探索し、写真を撮る 自分の好きな塀を描く 塀の効果や景観について気づき、発表する
学習内容	1 いろいろな塀があることを知る 2 自分たちで、学校の周りの塀を調べよう 3 いろいろな塀があり、色や素材大きさに違いがある 4 塀をデザインする
参考資料 準備品 実施場所等	景観まちづくり教育資料 邸宅画像ファイル、邸宅イラスト素材 オーストラリア、グレンアイラ市、メルボルン日本人学校周辺

学習の流れ

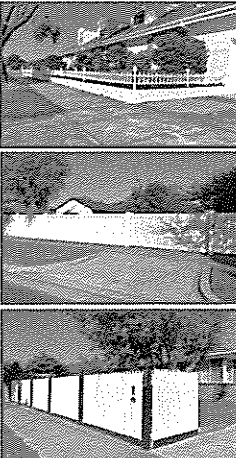
時間	学習活動	教師の指導	評価
2	<ul style="list-style-type: none"> ●まちを、子どもの目線で撮ったスライド画像をみる。 ●そこに映っていたものを挙げる。 ●まちの中には、塀がたくさんあることに気づく。 ●クラス全員でまち探索する場所を決める。 ●実際に学校の周りを歩き、目に映る塀をデジタルカメラを使用し、写真に撮る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事前に写真を撮って準備しておく。 ●写真に映っていたものが、まちを構成する要素の一部であることに気づかせる。 ●子どもの安全に十分注意する。 ●1つの塀に対し、①画面いっぱいには塀を撮ったもの、②その塀が入っている まちの風景を撮ったものの2パターンの写真を撮らせる。 	<p>関心・意欲・興味（観察）</p> <p>課題追究能力（観察） 表現力（写真）</p>

2	<ul style="list-style-type: none"> ●前時に撮った写真を見て、塀には様々な種類、色、形、素材があることに気づく。 ●塀が連なることで、まちの景観をつくっていることに気づく。 ●自分が住みたい邸宅のイラストを選択し、その邸宅に合う塀をコーディネートして塀を描く。 ●自分が描いた塀の作品について発表する。 ●みんなでどの作品がよかったか意見を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが撮った塀の写真をA4サイズに拡大しておく。 ●塀の拡大写真を、ランダムに黒板上で並べ、連なっている感じにする。 ●どうしてその組み合わせにしたのか、理由を発表できるようにする。 ●塀の連なりがみせる「統一感」や「調和」が景観を良くすることに気づかせる。 	<p>表現力（作品）</p> <p>表現力（発表） 自己評価力（発表・観察）</p>
---	---	--	--

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 メルボルン日本人学校

時間数	場所	概要	活動記録 (写真)	対象者の反応
1	多目的室 Moorabbin 地区	<ul style="list-style-type: none"> ●事前に写真を撮って準備しておく。 ●写真に映っていたものが、まちを構成する要素の一部であることに気づかせる。 		<p>改めていろいろな塀があることに気づいた。</p> <p>すぐにどの家にも塀があることに気づいた。</p>
1	多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ●自分が住みたい邸宅のイラストを選び、それに合う塀をコーディネートする。 ●自分が描いた塀の作品について発表する。 		<p>日本、オーストラリア、それ以外の国の建物を選んでいった。</p> <p>発表を聞いて質問が多数出て、回答に困ることもあった。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ●みんなでそれぞれの作品に対する評価をする。 		た。
--	--	--	--	----

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な塀の様子を撮影すること。素材や色など違いを知る手掛かりになる塀を探した。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校外での活動について児童の安心と安全のためのポリシーがあり、子どもたちのグループで行動させにくかったため、初年度は教員が撮影した。 ・景観を意識して塀を描くところまでは到達しない児童が多くいた。
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塀の機能を優先して景観に意識が行かない児童が多くいた。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師自身も塀に対する興味や関心があまりなかったが、児童がのびのびと塀を描くことで児童の景観に対する発想の豊富さに気が付いた。
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塀が連なる景色や風情をどのように子どもたちが理解するかについて研究する必要があると感じた。